

特集

2021 年奈良県経済の概況と
県内業界団体に聞く 2022 年の見通し

第 I 部

2021 年奈良県経済の概況

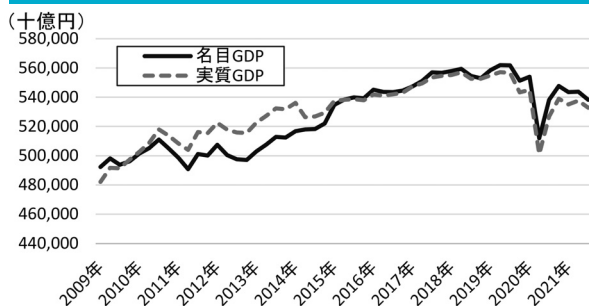
2021 年の日本経済の実質 GDP 成長率は、個人消費の回復を中心にプラス成長を見込む（21年 10～12 月期は未公表）。21 年 7～9 月期の実質 GDP 成長率は前期比▲0.9%（年率換算▲3.6%）と 2 四半期ぶりのマイナス成長となったが、これは新型コロナウイルス変異株の感染拡大、個人消費の低迷、半導体不足を受けた自動車の大幅な減産などによるものである。

2021 年の奈良県経済は、緊急事態宣言による影響などから、年前半は悪化傾向にあったが、経済活動の段階的な再開を受け、年後半は一部の業種で持ち直しの動きが見られるようになった。

先行きについては、感染症再拡大や原材料価格の上昇、半導体の供給不足など、経済の下振れリスクに引き続き注視する必要がある。

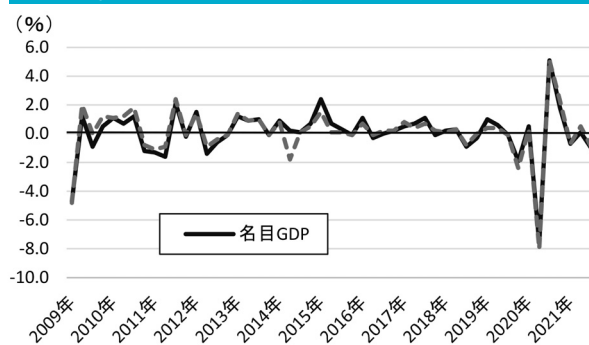
【注】本稿は 2021 年 12 月 20 日時点で公開されているデータに基づき記述している。

日本の名目・実質 GDP（実績値、季節調整値）の推移



資料出所：内閣府 経済社会総合研究所「国民経済計算（GDP 統計）」より当研究所作成

日本の名目・実質 GDP（前期比、季節調整値）の推移



資料出所：内閣府 経済社会総合研究所「国民経済計算（GDP 統計）」より当研究所作成

1 景気全般

1. 景気動向指数

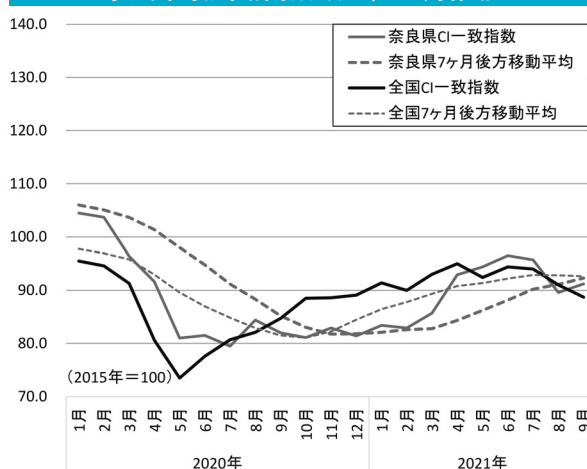
2021 年の奈良県景気動向指数（2015 年＝100）をみると、景気と一致して動く CI 一致指数は、1 月（83.7）から 3 月（85.9）まで概ね横ばいで推移していたが、4 月（93.1）に上昇し、その後は持ち直しの傾向にある。8 月は 89.7（前月比▲5.8 ポイント）と 2 か月連続で下落しているものの、経済活動の段階的な復調を受けて、当面はゆるやかに上昇していくものと思われる。

奈良県景気動向指数の長期推移



資料出所：内閣府 経済社会総合研究所「景気動向指数」、奈良県「奈良県景気動向指数」より当研究所作成

奈良県景気動向指数の直近月推移



資料出所：内閣府 経済社会総合研究所「景気動向指数」、奈良県「奈良県景気動向指数」より当研究所作成

2. 地元企業動向調査

(1) 景況感DI

当研究所の調査によれば、県内企業の景況感DI（前期比、全産業）は、新型コロナウイルス感染症の影響により2021年1～3月期は▲23.4と悪化した。その後は先行きの好転に対する期待感などから、4～6月期は▲16.1、直近の7～9月期は▲10.5とやや回復の傾向にある。

前年比では▲32.6ポイント→▲5.9ポイント→▲3.1ポイントといずれも改善している。

県内企業の景況感DIを4期中央移動平均した結果は、「全国企業短期経済観測調査（日銀短観）」

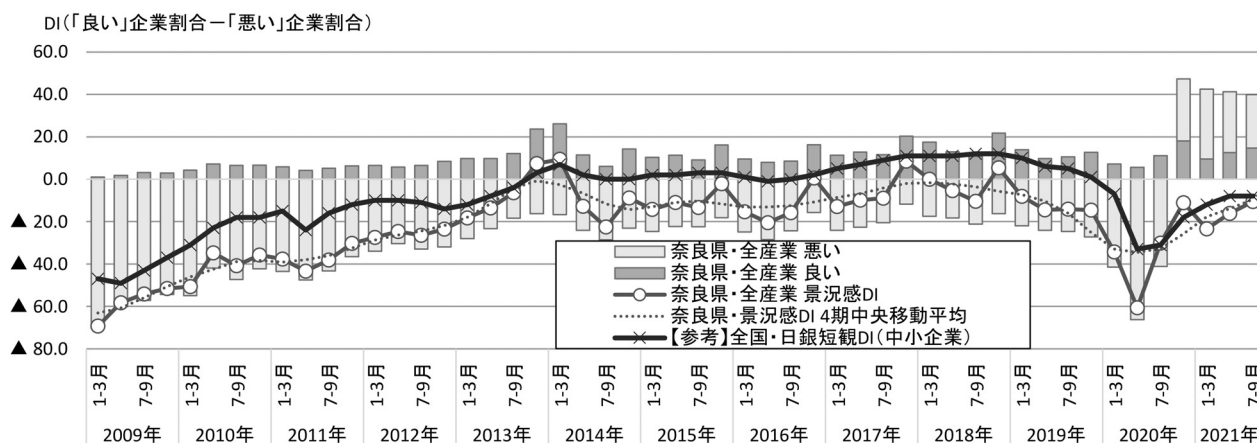
の全国の中小企業DIの動きとほぼ同様の動きを見せている。ただし、水準としては、奈良県のDIは全国よりもやや低い位置で推移していることが読み取れる。

(2) 設備投資

同じく県内企業に対し調査した設備投資実施状況の2021年（1～9月）の四半期ごとの動きは、全産業が27.1%→25.2%→32.9%となった。

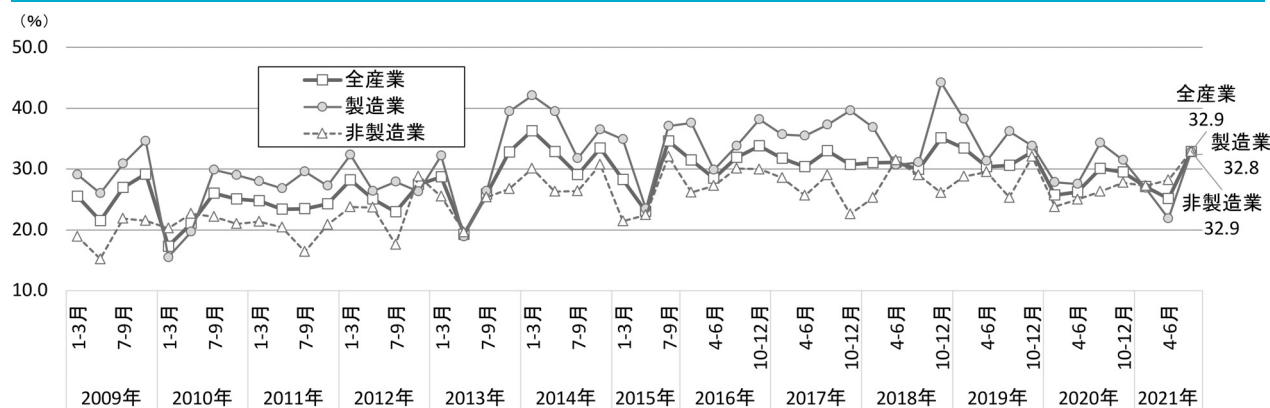
コロナ禍で減退していた設備投資意欲に持ち直しの動きが見られるが、新たな変異株の感染拡大などによる腰折れリスクが懸念される。

県内企業の景況感DI（所属業界の景況判断、前期比・全産業）



資料出所：南都経済研究所「地元企業動向調査」、日本銀行「全国企業短期経済観測調査（短観）」より当研究所作成

県内企業の設備投資実績（実施企業の割合）



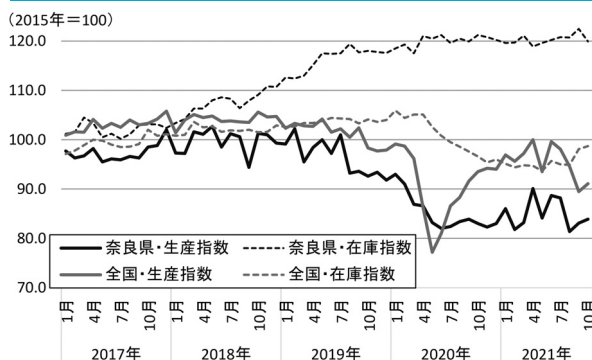
資料出所：南都経済研究所「地元企業動向調査」を再編加工

2 生産

2021年（1～10月）の奈良県鉱工業指数の動きは、生産指数は1月の86.0（季節調整済指数、以下同じ）から4月に90.1まで上昇した後、10月も83.9と、全国の動きと同様一進一退を繰り返している。一方、在庫指数は1月の119.6から10月の119.9へと高止まりしており、在庫調整の遅れと生産の足踏み状態がうかがえる。

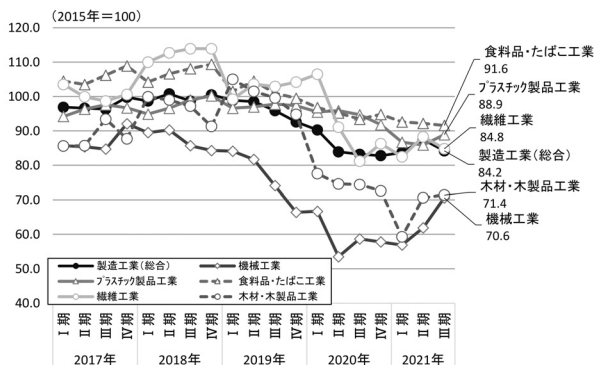
県内主要産業別に20年Ⅲ期から21年Ⅲ期への変化幅を見ると、製造工業（総合）は1.0ポイント上昇。機械工業（+11.9ポイント）などで上昇、プラスチック製品工業（▲5.8ポイント）、木材・木製品工業（▲3.0ポイント）などで低下した。

鉱工業指数（季節調整済指数）の推移



資料出所：奈良県「奈良県鉱工業指数」、経済産業省「鉱工業指数」より当研究所作成

県内主要産業別の鉱工業指数（季節調整済指数）の推移



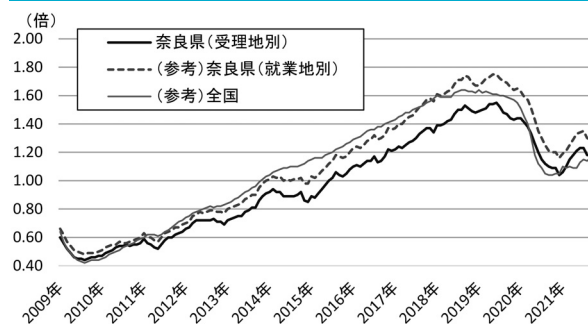
資料出所：奈良県「奈良県鉱工業指数」より当研究所作成

3 雇用

2021年（1～10月）の奈良県有効求人倍率（季節調整値、パートタイムを含む一般）の動きは、1月の1.06倍から7月の1.23倍まで上昇し、その後やや落ち込んだが、10月は1.21倍（前月比0.03ポイント上昇）とやや持ち直しの動き。

次に、職種別に2021年10月の正社員職業別有効求人倍率をみると、建設・採掘（5.11倍）が突出して高く、次いでサービス（2.45倍）、輸送・機械運転（2.30倍）と続く。1年前と比較すると、建設・採掘は0.17ポイント低下、サービスは0.42ポイント上昇、輸送・機械運転は0.13ポイント上昇した。

有効求人倍率（季節調整値）の推移



（注）パートタイムを含む一般。

資料出所：厚生労働省「一般職業紹介状況」より当研究所作成

奈良県の職種別有効求人倍率（正社員・原数値）

（単位：倍）

職業	職業別有効求人倍率 （正社員）		
	2021年 10月	2020年 10月	2019年 10月
職業計（正社員）	0.97	0.82	1.10
建設・採掘の職業	5.11	5.28	6.26
サービスの職業	2.45	2.03	2.89
輸送・機械運転の職業	2.30	2.17	3.36
保安の職業	2.24	1.89	2.38
専門的・技術的職業	1.70	1.36	1.89
生産工程の職業	1.68	1.09	1.49
農林漁業の職業	1.06	0.84	1.10
販売の職業	1.04	0.83	1.09
管理的職業	0.56	0.70	0.89
運搬・清掃・包装等の職業	0.56	0.42	0.62
事務的職業	0.30	0.26	0.34

（注）2021年10月の有効求人倍率降順に職業を並べている。

資料出所：奈良労働局「一般職業紹介状況」より当研究所作成

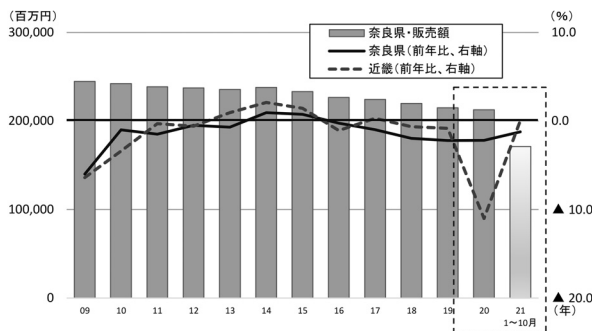
4 個人消費

1. 百貨店・スーパー販売額

2021年（1～10月、10月は速報値）の百貨店・スーパー販売額（全店ベース）は1,711億円で、前年比▲1.2%と前年同期を下回ったが、近畿（福井県を含む2府5県）は同+0.0%で、横ばいの動きとなった。

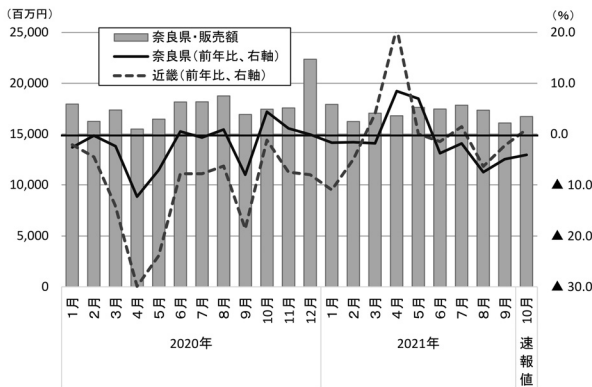
近畿全体では、去年はインバウンドの激減や外出自粛で大幅に減少したが、今年は営業制限が緩和された期間などに増加したことから、前年比では底堅い動きとなった。奈良県は、大阪や京都と比べてスーパーのシェアが高く、去年の落ち込みは限定的であったが、今年は夏頃から前年を下回る動きが続き、近畿全体を下回る結果となった。

百貨店・スーパー販売額の年推移（全店ベース）



資料出所：近畿経済産業局「百貨店・スーパー販売状況（近畿地域）」より当研究所作成

百貨店・スーパー販売額の月推移（全店ベース）



資料出所：近畿経済産業局「百貨店・スーパー販売状況（近畿地域）」より当研究所作成

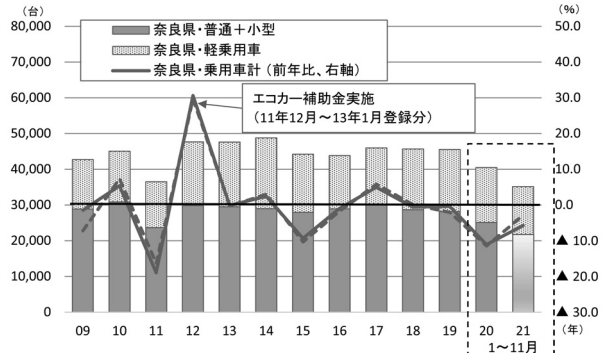
2. 乗用車新車販売台数

2021年（1～11月）の乗用車新車販売台数（軽含む）は前年比▲5.7%の35,124台と、全国（同▲2.8%）以上のペースで販売台数が落ち込んだ。

車種別に見ると、普通乗用車＋小型乗用車は21,756台（同▲5.7%）、軽乗用車は13,368台（同▲5.8%）となった。

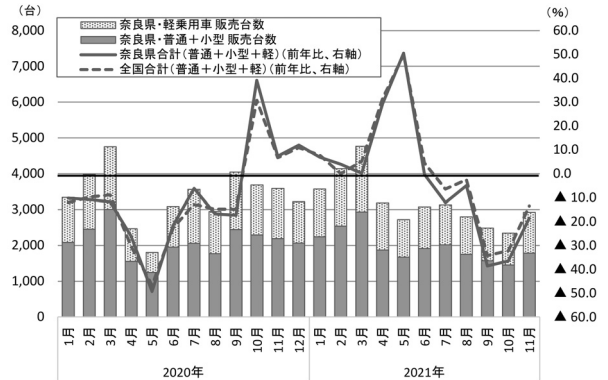
販売各社では、オンライン商談ツールの導入やSNSの活用など、ウィズコロナに対応した新たな営業スタイルの模索を続けている。政府より「2035年までに新車販売で電動車100%の実現」が打ち出され、消費者においても脱炭素化に資する電動車への関心が高まっていくものと思われる。

乗用車新車販売台数の年推移



資料出所：日本自動車販売協会連合会、奈良運輸支局、奈良軽自動車協会提供資料より当研究所作成

乗用車新車販売台数の月推移



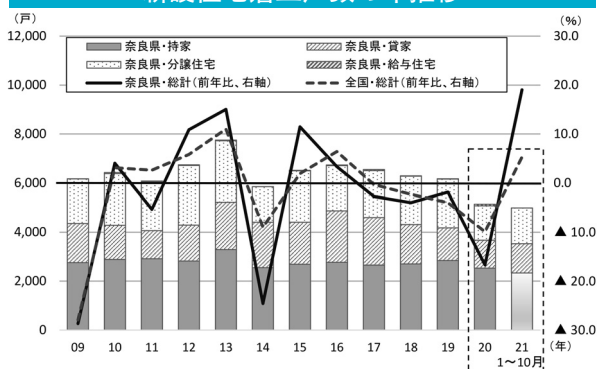
資料出所：日本自動車販売協会連合会、奈良運輸支局、奈良軽自動車協会提供資料より当研究所作成

5 住宅投資

2021年（1～10月）の新設住宅着工戸数は4,985戸で、前年比+19.0%（全国+5.3%）と全国以上に上昇幅が大きい。3月の着工戸数は同▲35.3%と大幅に落ち込んだが、4月は前年比+29.9%と大幅に回復し、その後は前年同月を大きく上回る基調が続いている。種類別に見ると、分譲住宅（+29.6%）、貸家（+20.8%）、持家（+14.1%）がいずれも前年比大幅プラスとなっており、住宅購入マインドの回復がうかがえる。

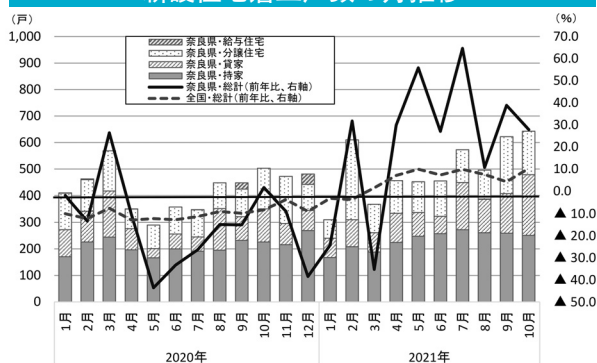
当面は景気の持ち直しを背景にゆるやかな回復が続く見込み。低金利の環境も需要を下支えするものと思われるが、建設資材の供給不足と価格高騰が長引いており、先行きの下押し要因として懸念されている。

新設住宅着工戸数の年推移



資料出所：国土交通省「住宅着工統計」より当研究所作成

新設住宅着工戸数の月推移



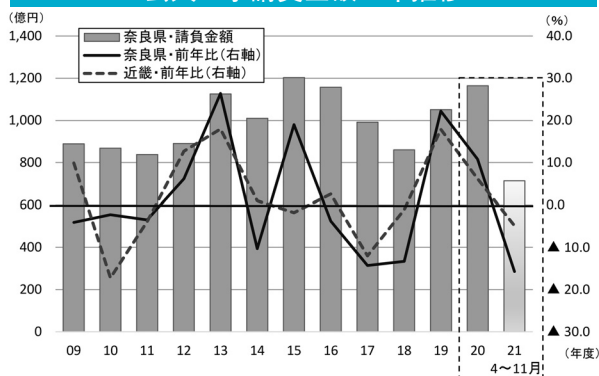
資料出所：国土交通省「住宅着工統計」より当研究所作成

6 公共投資

2021年度（4～11月）の公共工事請負金額は715億円で、前年比▲15.7%（近畿▲4.9%）と前年を下回るペースで推移している。

県内における今年度の大型工事としては、下市町小中一貫校整備工事（今年度中対象額18億円、以下同じ）、（仮称）奈良市子どもセンター新築工事（14億円）、王寺工業高校教室棟・屋内運動場外1棟改築工事（10億円）、NAFIC附属セミナーハウス新築工事（10億円）、天理市立南中学校整備工事（9億円）、山辺高校管理教室棟外2棟改築工事（9億円）などが挙げられる。

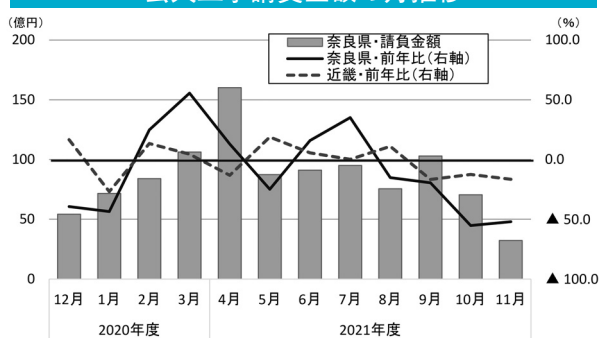
公共工事請負金額の年推移



（注）工事場所別の保証実績。北海道建設業保証㈱、東日本建設業保証㈱、西日本建設業保証㈱の保証実績の合算。

資料出所：東日本建設業保証株式会社「公共工事前払金保証統計」より当研究所作成

公共工事請負金額の月推移



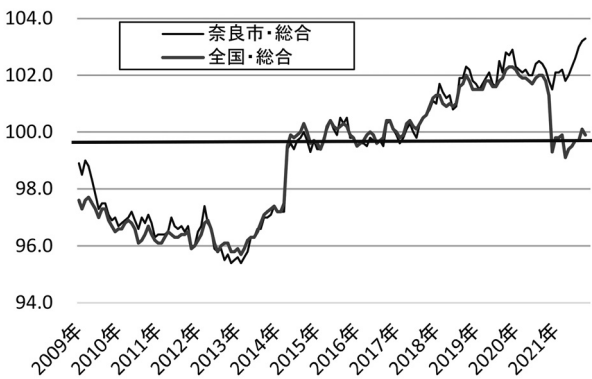
資料出所：東日本建設業保証株式会社「公共工事前払金保証統計」より当研究所作成

7 物 価

2021年（1～10月）の奈良市の消費者物価指数（総合）の動きは、10月が103.3と前年同月比で5か月連続上昇している。

品目別の動きを見ると、直近10月では「教養娯楽」（前年同月比+4.8%、以下同じ）、「光熱・水道」（+3.2%）、「食料」（+1.8%）などが上昇し、「交通・通信」（▲7.6%）などが下落した。

消費者物価指数の推移

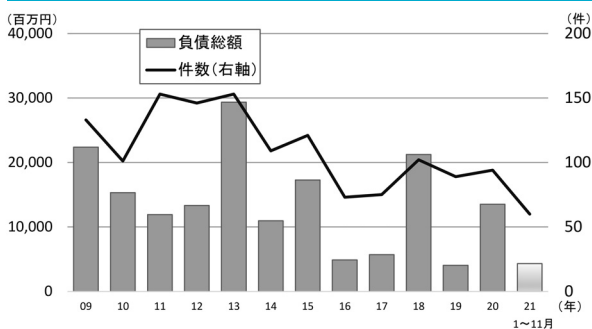


資料出所：総務省統計局「消費者物価指数」より当研究所作成

8 倒 産

2021年（1～11月）の倒産件数は合計60件（うち新型コロナウイルス関連倒産は13件）、負債総額は4,317百万円と、いずれも現時点で前年（91件、13,450百万円）を大幅に下回っている。

奈良県の企業倒産件数・負債総額の推移



資料出所：帝国データバンク奈良支店「奈良県企業倒産集計」より当研究所作成

9 工場立地

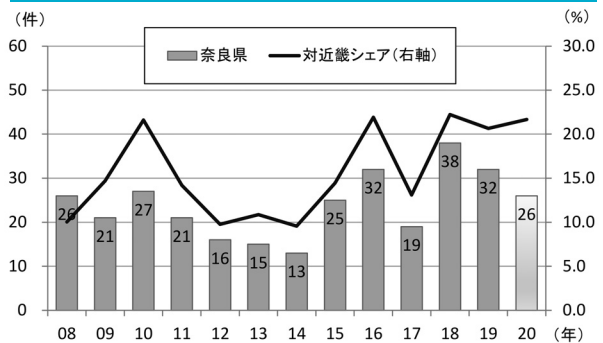
2020年の工場立地件数は26件で前年（32件）から減少、面積は207千㎡とで前年（188千㎡）から増加した。対近畿シェアは立地件数、面積ともに上昇した。

立地件数のうち、業種別では「食料品」が7件、「生産用機械」が5件、「化学」が3件、「プラスチック製品」「金属製品」が各2件などとなった。

立地先の地域別では、南和地域で17件、北和地域で9件の立地となった。

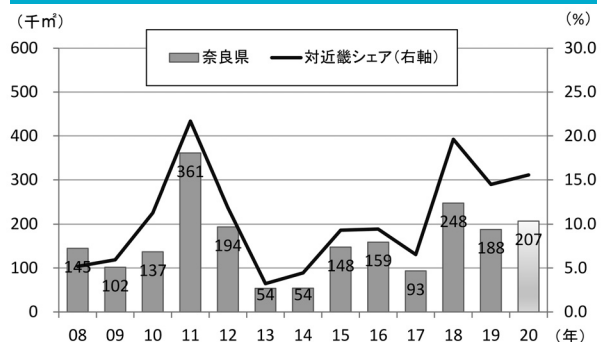
2021年については、製造業を中心とした設備投資意欲を背景に、一定程度の立地が見込まれる。

工場立地件数・近畿内シェアの推移



資料出所：経済産業省「工場立地動向調査」より当研究所作成

工場立地面積・近畿内シェアの推移



資料出所：経済産業省「工場立地動向調査」より当研究所作成

10 観光

観光庁「宿泊旅行統計調査」によると、コロナ禍の影響が顕在化した2020年の奈良県の延べ宿泊者数は約148万人泊（前年比45.7%減少）となった。

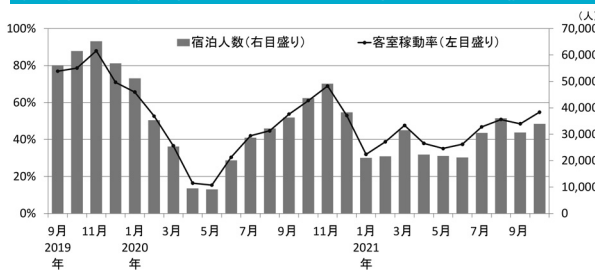
2021年について奈良市及び周辺部の主要ホテル9社の客室稼働率は、4月以降30%台に低迷していたところ、7月からは50%近辺で推移、10月には54.8%となった。宿泊人数は、1月～6月はコロナ前の一昨年比30～40%に留まる一方、ワクチン接種の進展もあり、7月以降は50%超の水準にまで回復した。

奈良県延べ宿泊者数の推移



資料出所：観光庁「宿泊旅行統計調査」

奈良市及び周辺部の主要ホテル9社の客室稼働率・宿泊人数



(注) 奈良市及び周辺部に所在する主要ホテル9社の、客室稼働率（平均）と宿泊人数（合計）。

資料出所：奈良市ホテル協議会提供資料より当研究所作成

観光庁「旅行・観光消費動向調査」によると、奈良県の2020年の観光消費単価（観光・レジャー目的、都道府県間交通費は含まれない）は、日本人16,410円（全国42位）で、日帰り観光客の多さもあり低位に留まっている。

奈良県観光局「奈良県宿泊統計調査」では、県内の全てのホテル・旅館・簡易宿所（旅館業法に基づく営業許可施設）の宿泊者数について、エリア別や主要観光地別などの詳細データを公表している。

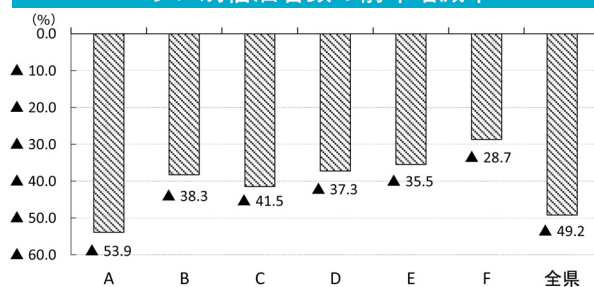
2020年についてエリア別の延べ宿泊者数の対前年増減率を見ると、県内ではインバウンド減少の影響を大きく受けたAエリア（奈良市など）の減少率が最も大きく、山間地、中山間地のEエリア、Fエリアの減少率は相対的に小さくなった。この傾向は2021年も継続している。

エリア区分

A	奈良市、生駒市、天理市、大和郡山市、香芝市、平群町、三郷町、上牧町、王寺町、斑鳩町、安堵町、田原本町、広陵町、山添村
B	大和高田市、橿原市、葛城市、桜井市、御所市、明日香村
C	宇陀市、曽爾村、御杖村、東吉野村
D	吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村
E	五條市、野迫川村、十津川村
F	川上村、上北山村、下北山村

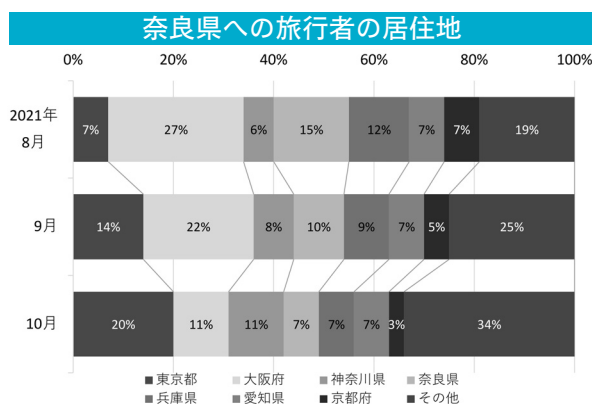
※ 対象宿泊施設無し：河合町、川西町、三宅町、高取町

エリア別宿泊者数の前年増減率



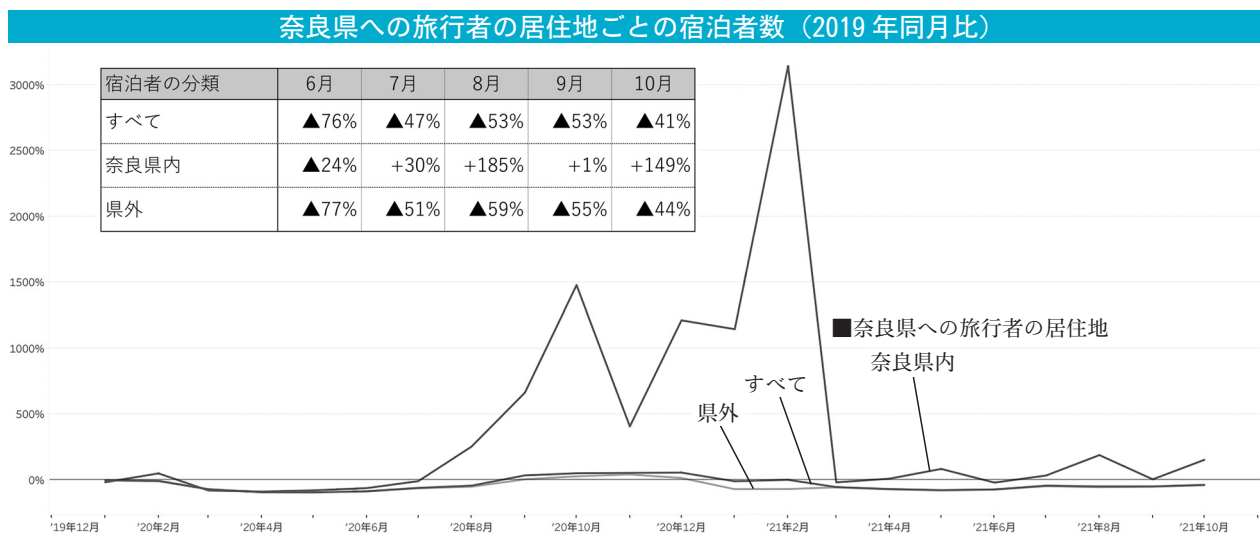
資料出所：奈良県観光局「奈良県宿泊統計調査」

内閣府が公開する「^{フリーパス}V-RESAS」によると、旅行者の居住地はコロナ新規感染者数がこれまでのピークとなった8月には、奈良県を含む関西圏からの宿泊者数が過半数を占めたが、全国で緊急事態宣言が解除された10月以降は首都圏の割合が増加し、10月には東京都20%、神奈川県11%などとなり、関西圏は30%程度に低下した。



資料出所：V-RESAS「旅行者の宿泊動向」（観光予報プラットフォーム推進協議会より提供されたデータから集計）をもとに当研究所で作成

奈良県への旅行者（グループ旅行の場合は代表者）の居住地ごとの宿泊者数をコロナ前の2019年と比較すると、県内居住者の県内宿泊は、「いまなら。キャンペーン」が終了した2021年3月



資料出所：V-RESAS「奈良県の予約代表者の居住地ごとの宿泊者数」（観光予報プラットフォーム推進協議会より提供されたデータから集計）をもとに当研究所で作成

以降も増加傾向で推移しており、コロナ禍で定着したマイクロツーリズムの需要を取り込んでいる。

2021年12月から2022年2月にかけて実施されている「いまなら。キャンペーン2021」は、県内観光の促進とともに、感染防止対策施設に対する県の認証制度やワクチン接種の促進も目的としており、県内消費の活性化と郷土愛を深める効果にも期待がかかる。

2022年6月には「第7回 UNWTO ガストロノミー・ツーリズム世界フォーラム」が奈良県で開催される。インバウンド需要の回復にはまだ時間がかかると思われるが、MICE※開催はポストコロナの観光振興を展望するうえで重要となる。

もっとも足もとでは新たな変異株など、コロナ感染再拡大への不安もあり、先行き不透明感を払拭できない不安定な状況が当面は継続するものと思われる。

※MICE…企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・研修旅行（Incentive Travel）、国際機関・団体、学会等が行う国際会議（Convention）、展示会・見本市、イベント（Exhibition/Event）の頭文字のことであり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。

第 II 部

県内業界団体に聞く

2022 年奈良県経済見通し

当研究所は、2021 年末に県内の業界団体の皆さまを対象とする「県内経済見通しアンケート」を実施した。本アンケートでは、各業界の 2021 年の業況と 2022 年の見通しに加え、コロナ禍を受けた各業界の重要課題、国内外および県内経済における関心事を伺った。

ご回答いただいた皆さま

奈良県酒造組合
奈良県靴下工業協同組合
奈良県木材協同組合連合会
奈良県プラスチック成型協同組合
一般社団法人奈良県建設業協会
奈良県貨物運送事業協同組合
奈良県旅館・ホテル生活衛生同業組合

以上 7 団体（日本標準産業分類順）

アンケート結果からは、2021 年もコロナ禍による影響の厳しさがうかがえるが、2022 年はやや持ち直しの動きが見込まれる見通し。

	2021年業況	2022年見通し
やや好況	—	2 団体
不 変	2 団体	1 団体
やや不況	3 団体	4 団体
不 況	2 団体	—

※「好況」は回答なし

以下に各団体のご回答について取りまとめているので、企業経営に携わる皆さまの一助としてご活用いただければ幸いです。

アンケートにご協力を賜りました業界団体の皆さまに本誌面をもって厚く御礼申し上げますとともに、本年も益々のご発展をお祈り申し上げます。

（大橋 徹）

奈良県酒造組合

大和高田市幸町 2-33

1. 2021 年の貴業界の業況は？（前年比）

好況 やや好況 不変 やや不況 **不況**

2. 2022 年の貴業界の見通しは？（同）

好況 やや好況 不変 **やや不況** 不況

<理由>

2021 年は、昨年から続くコロナ禍の影響により、飲食店の休業・営業時間短縮、会食自粛等で、業務用酒類に対する需要は激減したままである。

2022 年についても、コロナ禍が続く限り回復は見通しづらいが、イベントの開催等で奈良の地酒の魅力を効果的に発信し、需要の掘り起こしに地道に取り組んでいきたい。

3. コロナ禍の影響と業界の重要課題は？

コロナ禍の影響が長期にわたり、奈良県内の飲食店、酒販店は依然として厳しい情勢にある。酒造業者の業績は会社規模や、販売対象が飲食店向けか小売店向けかなどによってばらつきがあり、酒類専門店や通信販売に注力していた業者は比較的落込みが少ない。地域ブランドの確立により他の製品との差別化を図るため、酒類の地理的表示制度（GI）への対応も視野に入れておく必要がある。

4. 国内外および県内経済における関心事は？

- ・コロナ禍における飲食店の動向
- ・消費税にかかるインボイス制度の導入
- ・HACCP への対応
- ・SDGs への対応
- ・2025 年大阪・関西万博の開催

奈良県靴下工業協同組合

大和高田市日之出西本町 6-23 センイ会館 2 階

1. 2021 年の貴業界の業況は？（前年比）

好況 やや好況 不変 やや不況 **不況**

2. 2022 年の貴業界の見通しは？（同）

好況 やや好況 不変 **やや不況** 不況

<理由>

2021 年の業況を振り返ると、コロナ禍の影響を強く受け、販路のばらつきはあるものの全体的には良いとはいえなかった。

2022 年については、コロナ禍の影響は残ると考えられるが徐々に回復すると思われる。また、生活スタイルの変化により、売れるカテゴリーや流通の変化がある見通し。

3. コロナ禍の影響と業界の重要課題は？

社会全体に受けている影響は各業種様々であるが、原材料の高騰や生産インフラの脆弱化による生産への影響が課題である。

また、為替の動向により、輸入浸透率の高い靴下では影響が出てくる。

4. 国内外および県内経済における関心事は？

- ・円安による原材料の高騰
- ・エネルギーコストの高騰
- ・外国人実習生の扱いが不透明

奈良県木材協同組合連合会

橿原市内膳町 5-5-9

1. 2021 年の貴業界の業況は？（前年比）

好況 やや好況 **不変** やや不況 不況

2. 2022 年の貴業界の見通しは？（同）

好況 やや好況 **不変** やや不況 不況

<理由>

2021 年の業況を振り返ると、コロナ禍の影響に加え、ウッドショックと呼ばれる輸入材の品薄、価格高騰に伴い、国産材も価格高騰が続いた。

2022 年については、高騰した国産材の価格が今後どのように推移するのかを含め、先行きは不透明である。

3. コロナ禍の影響と業界の重要課題は？

ウッドショックにより国産材の需要が高まっているが、人材やインフラなどの問題により、大幅に生産を増やすことは難しく、サプライチェーンの整備が課題である。

今後も着実に、住宅・非住宅分野ともに木材利用促進の取組みを継続していきたい。

4. 国内外および県内経済における関心事は？

- ・ウッドショックの状況
- ・2025 年大阪・関西万博の開催
- ・公共建築物等への木材利用の動向
- ・都市部における木造・木質化建築の動向
- ・SDG s への対応

奈良県プラスチック成型協同組合

葛城市東室 165-6

1. 2021年の貴業界の業況は？（前年比）
好況 やや好況 不変 **やや不況** 不況
2. 2022年の貴業界の見通しは？（同）
好況 やや好況 不変 **やや不況** 不況

<理由>

2021年の業況を振り返ると、人流抑制施策の実施等による減収や原料の価格高騰が続き、減益となるケースが増えた。

2022年については、慢性的な人手不足解消に向けて技能実習制度の正常化と外国人材の安定化に期待したいが、個人消費が回復するまでは事業収益の改善に時間を要する見通し。

3. コロナ禍の影響と業界の重要課題は？

新規感染者数が減少している日本への入国制限の緩和が進む中、人手不足が依然として続いている。そのため、技能実習制度の正常化による外国人材の活用を推進し、業況の回復に寄与したい。

また、業界が取り組むべき循環戦略や職・現場の環境改善を推進し、若手経営者を中心とした技術力の高度化と従業員への技術継承に注力したい。

コロナ禍というニューノーマルな時代の変革期の今こそ、独創性のある発想で目的を明確にして様々な困難を乗り越えていきたい。

4. 国内外および県内経済における関心事は？

- ・事業の継続や再構築等に係る支援策
- ・原料の価格高騰への対応と資源調達
- ・SDGs への対応を踏まえた環境対策
- ・技能実習制度における出入国状況の変化
- ・生産工程を支えるデジタル人材の育成

一般社団法人奈良県建設業協会

奈良市高天町 5-1

1. 2021年の貴業界の業況は？（前年比）
好況 やや好況 不変 **やや不況** 不況
2. 2022年の貴業界の見通しは？（同）
好況 やや好況 不変 **やや不況** 不況

<理由>

2021年の業況を振り返ると、コロナ禍の影響による民間需要の落ち込みや資材価格の高騰で前年比減収となった。

2022年については、新たな変異株による第6波到来への不安等もあり、先行きは不透明。

3. コロナ禍の影響と業界の重要課題は？

今後、新規感染者数が減少し、経済活動が再開するにつれ、元々あった建設需要と相まって、好況に転じるのか、原油高等による建設資材の高騰が解消されず引き続き経営環境に悪影響を及ぼすのか、業況は不透明。

また、若年労働者等人手不足は大きな問題として残っており、労働環境の改善による人材確保や、ICT 施工等による業務効率化を図りたい。

4. 国内外および県内経済における関心事は？

- ・働き方改革への対応（労基法の建設業適用）
- ・大阪・関西万博の開催
- ・防災、減災、国土強靱化への取り組み

奈良県貨物運送事業協同組合

天理市西長柄町 186-1

1. 2021年の貴業界の業況は？（前年比）

好況 やや好況 **不変** やや不況 不況

2. 2022年の貴業界の見通しは？（同）

好況 **やや好況** 不変 やや不況 不況

<理由>

2021年は、コロナ禍においてワクチン接種やコロナ感染防止への対応力が向上し、業界全体として業績は横ばい、または微増を維持した。

2022年は、ワクチン接種の進展や新たな治療薬の開発、国民に感染拡大防止への対応が根付き、今後の見通しに明るさがみられ、経済活動の正常化が予想される。第6波を起こさないためにも、外国人の入国制限などは引き続き必要である。

3. コロナ禍の影響と業界の重要課題は？

ワクチン接種の進展や新たな治療薬の開発など、コロナの感染リスクが減少しつつあることから、先行きへの不透明感は和らぎ、社会全体の動きが徐々に活性化することが予想される。

業界は人手不足で、働き方改革の実効性に課題があり、労働時間短縮の実現は困難。標準運賃は示されたが、コロナ禍での運賃値上げ要請は厳しい。他業種より「労働時間が2割長く、賃金が2割安い」とされる運輸業界の働き方改革を実現するためには、運賃問題の解決が不可欠となる。

4. 国内外および県内経済における関心事は？

- ・高値で推移する燃料価格の動向
- ・労働条件の改善によるドライバー不足の解消
- ・標準運賃の浸透による経営改善
- ・働き方改革への取組み強化

奈良県旅館・ホテル生活衛生同業組合

奈良市三条大宮町 1-12 奈良県生衛会館内

1. 2021年の貴業界の業況は？（前年比）

好況 やや好況 不変 **やや不況** 不況

2. 2022年の貴業界の見通しは？（同）

好況 **やや好況** 不変 やや不況 不況

<理由>

2021年は、9月までは近隣府県からの宿泊客が多かったが、緊急事態宣言が解除された10月以降首都圏からの宿泊客が戻り、回復ペースが加速している。もっとも前年にGoToトラベル事業が実施されていた影響で、足もとは前年比で減少に転じている。

2022年は、コロナの感染状況次第であるが、奈良県の「いまなら。キャンペーン2021」などの支援策が寄与し、旅行需要は回復する見通し。

3. コロナ禍の影響と業界の重要課題は？

コロナ感染拡大に対する懸念は根強く、観光に関する積極的なプロモーションは困難な状況が続く。また、宴会需要は当面回復する見込みがなく、総合型の宿泊施設には痛手となっている。

厳しい経営環境が続く中、生産性、顧客満足度向上のためのICT投資が重要となっている。

4. 国内外および県内経済における関心事は？

- ・「いまなら。キャンペーン2021」による県民の県内観光に対する意識の高まり
- ・旅行やイベント、伝統行事に対する世間の許容度、雰囲気
- ・インバウンド需要の回復時期
- ・グローバル経済の動向